

好評につき、アンコール上映！



わが青春つきるとも

— 伊藤千代子の生涯 —

井上百合子 窪塚俊介
石丸謙二郎 津嘉山正種
塚瀬香名子 角田萌果 印南唯 宜野座万鈴 當銀祥恵 田上唯 平田舞
和内璃乃 市橋恵 嵐圭史 ナレーション:長谷川稀世
竹下景子 金田明夫
桂 壮三郎 監督作品

諏訪地域2022年11月上映会

上映日時・会場

開場は下記時間の30分前になります。【上演時間125分】

- 11月18日(金): 午前10時/午後1時30分 ◆ 諏訪湖ハイツ コンベンションホール
11月19日(土): 午前10時/午後1時30分/午後5時30分
11月20日(日): 午前10時/午後1時30分 ◆ 諏訪市・いきいき元気館 交流ひろば

19日・20日とも

- 11月21日(月): 午前10時/午後1時30分 ◆ 原村・八ヶ岳自然文化園 大研修室
(各回とも映画案内レクチャーと感想交流あり by 村長毛利 30分程度)

入場料

【一般】1000円 【高・大学生】300円 【中学生以下・障がい者】無料
(前売券等、チケットはありません)

予約制

各上映日の2日前までに mouri-m@joy.ocn.ne.jp にどうぞ
お問合せ窓口 090-4096-7065 (毛利) でもOKです

~1028名鑑賞の今春につづき、打ち震える感動をお送りします~

<後援> 岡谷市・下諏訪町・諏訪市・茅野市・原村・富士見町
<主催> すわこ文化村 (村長: 毛利正道 設立: 2009年・88企画開催)

《映画のあらすじ》 今から100年余り前ここ諏訪に生まれ、(現)諏訪二葉高校を卒業した伊藤千代子は、苦しむ人々に心を寄せ、平和と働く者、男女平等のために戦い、逮捕拷問されても屈することなく24歳の短い生涯を終えたが、そのころさしは今も受け継がれ生きている。

予告編を含む映画公式ホームページ:「劇映画 伊藤千代子の生涯」で検索

伊藤千代子17歳:高島小学校代用教員当時に親友に宛てた手紙

「私は近頃、ほんとうに若くありたい、
若い時代を若く生きたいと考えるようになりました。」

春の上映会での中・高校生の感想

伊藤千代子さんの母校である諏訪二葉高校の学生です。

この映画がきっかけで千代子さんについて興味を持ち、たくさんを知ることになりました。千代子さんの生き様はとても深く、心に残りました。この映画で、まっすぐに凜とした千代子さんの姿を見て、自分自身の生き方についても深く考えさせられました。

僕は、この千代子さんのことを”他者のことを自分自身のように考えられる強くとても優しい人”だと思いません。自分の思ったこと、感じたことが国家と違ったとしても自分の考えを曲げない。その強さは全て、貧しく、大変な思いをしている人への共感と、自分が何とかするのだ、という決意から来るのだと思います。僕は、千代子さんの強さ、優しさを見習い、心の糧としたいです。

僕も千代子さんのように生きたい、と強く思います。強く、優しく、人を思い、生きたいと思います。本当にありがとうございました。

伊藤千代子さんの力強く何事にも屈さず、明るく生きた姿がとても強く心に残っています。これが実際に起きていたとはとても衝撃ですが、勇気をたくさんもらいました。 中学生



諏訪湖を望む伊藤千代子顕彰碑

伊藤千代子さんは、労働者の人を守るためにひどい拷問を受けていてもあきらめない心がすてきだなと思った。 中学生



若く女性であるという弱い立場にありながら活動を続けて戦った姿が素晴らしいと思った。自分は今高校生であるが、あまり変わらない年齢から活動していて驚いた。声を上げてくれた人々のおかげで今の平和な世の中があるが、まだ、貧困やジェンダーなど、抱えている問題がある。今は声を上げる場所にSNSがある。私は、ジェンダーや性差別による格差に関心があり、積極的に調べている。SNSで誰でも簡単に発信できるようになったが、誹謗中傷や弾圧的な反応で言われることが多い。映画で描かれていた人たちのような、声を上げて戦って変えていった人たちのように、私たちが負けずに戦っていくべきだと思った。 高校生

映画を見て、世の中を変えよう、平和にしよう運動している人が大勢いて政府の弾圧を受けていたと改めて知りました。千代子さんは、諏訪出身で身近な存在の方が、この時代に日本を変えようと頑張っていたことに驚きました。献身的で意志が固く、周りの人からも信頼されていて、とても魅力的な方だったんだろうと思いました。改めて平和の大切さ、尊さをかんがえさせられました。

高校生